

26年度 採択案件用

(別紙様式第4号)

26～28 採択案件は旧要領に基づきますので、
「別紙様式第4号」です。
機構HPよりDLのうえ、作成願います。

複数の報告書を提出する
団体は、必ず文書番号を
明示

番 号
年月日

独立行政法人農畜産業振興機構理事長 殿
(都道府県野菜価格安定法人経由)

道府県協会を經由して
申請書や報告書を提出する場合は、
經由する協会名を補記してください
(機構直送案件は、削除願います)。

職位を必ず明記して下さい。

事業実施主体名
所 在 地
代 表 者 氏 名

印

今回の報告書は、29年度の
実施状況を報告します。

加工・業務用野菜生産基盤強化事業実施状況報告書(平成29年度)について
~~(加工・業務用野菜生産基盤強化事業成果報告書について)~~

新しい野菜産地づくり支援事業実施要領(平成28年4月1日付け27生産第2956号農林水産省生産局長通知)別記1の第14 ~~(第15)~~に基づき、別添のとおり関係書類を添えて報告します。

来年の報告は、「成果報告書」として提出します。

(注) 関係書類として、別添資料を添付する。

役職名なども含め、事業実施計画から正確に転記

(別添)

1 事業実施主体の概要

団体名	エーリック出荷組合		
代表者名	組合長	農林 太郎	
担当者名	農林 二郎		
	(TEL) 999-9999-9999	(FAX) 888-8888-8888	
	(E-mail) abcd@alic.go.jp		

(注) 担当者は、本事業の実施及び会計手続等の窓口となる者を記載する。

●最新(直近)の事業実施計画から転記

- ※1 代表者名や担当者名等の変更がある場合は、計画変更を行ってください。
- ※2 取組期間は、各種取組の実施期間である3年間を指します。(なお、事業実施期間は、5年後の目標評価時を含めた5年間を指します。)

2 取組期間及び対象品目

取組期間	26年度～28年度	対象品目	○○○
------	-----------	------	-----

3 産地の現状等

(例) ○○の農業は、これまで、□□等の作物生産を主体とした農業生産が展開されおり、○○年頃より、加工・業務用○○の栽培を進めてきたところであるが、□□については・・・・のような問題が生じている。

(※記入例を参考に営農に関する現状(栽培作物・面積)、加工・業務用野菜の生産状況、課題について具体的に記載すること。)

平成29年度現在の産地の現状について、事業実施計画「3.産地の現状・課題」及び「4.産地の取組」の記載内容をベースに、営農に関する現状(栽培作物・面積)、加工・業務用野菜の生産・出荷に係る状況や課題・問題点などについて、

『来年に迫る平成30年度の成果目標の達成に留意して、具体的に記載してください。』 ※計画書の転記だけでは認められません。

●現状～3年目 ⇒ 28年度の**実施状況報告書**の同じ欄から転記

記載しない箇所は、空欄ではなく「—」(ハイフン)を記載する(すべての表)

4 達成状況

指標項目	現状 (平成●●年度)	目標 (平成30年度)	取組状況					達成率(評価)(%) (5年目(%) / 目標(%))
			1年目 (平成26年度)	2年目 (平成27年度)	3年目 (平成28年度)	4年目 (平成29年度)	5年目 (平成30年度)	
単収の向上 (kg/10a)	—	—	—	—	—	—	—	—
〇〇コスト削減 (円/10a)	(例↓) 契約取引数量の増加の場合		—	—	—	—	—	—
契約取引 数量の増加(t)	1,000 t	1,333.3 t (33.3%増加)	1,123.6 t (12.4%増加)	1,199.7 t (20.0%増加)	1,300.5 t (30.1%増加)	1,330.5 t (33.1%増加)	—	—

●29年度の該当する目標の実績に係る増減率を記載
小数点第2位を四捨五入して、第1位まで表示

- (注) 1. 現状及び目標は、事業実施計画の5から転記する。
2. 取組状況欄には、下段に現状からの増加(削減)割合(%)を小数点第2位を四捨五入し、%単位で記載する。
3. 達成率は、目標(増加・削減割合(%))に対する達成度(%)を小数点第2位を四捨五入し、%単位で記載する。

(添付資料)

・取組状況等の根拠資料(考え方等) ⇒ 29年度の契約期間における目標の達成状況の算出根拠:(データ)の集計表(整理表)を添付

5 取組の効果及び改善方策

	取組の効果	課題	改善方策(改善の必要がある場合)	備考
1年目 (平成26年度)	●1~3年目 28年度の 実施状況報告書 の同じ欄から転記			
2年目 (平成27年度)				
3年目 (平成28年度)	●4年目(取組の効果) 29年度の各取組(実需者ニーズの生産/出荷の状況、生産/流通コストの低減の状況、作柄安定の取組効果など)を、数値を用いるなどして、具体的に記載してください。	●4年目(課題~改善方策) 29年度までの取組を通じて明らかになった課題や懸念事項等を整理し、それに対する改善方策について、『今年度の成果目標の達成を目指し、具体的に記載してください。』 ※ 適宜、別紙を活用したり、参考資料を添付するなど、わかりやすさに留意して下さい。	—	—
4年目 (平成29年度)				
5年目 (平成30年度)	—	—	—	—

※ 「5事業の効果及び改善方策」が最もコアになる箇所ですので、簡条書きではなく、事業を通じて得られた効果とともに、目標達成に向けた課題や問題点を洗い出し、そのための改善方策や工程などについて検討し、具体的に記載してください。

●現状～3年目&単収 ⇒ 28年度の**実施状況報告書**から転記

6 契約に基づく出荷実績

	現状 (平成●●年度)	1年目 (平成26年度)	2年目 (平成27年度)	3年目 (平成28年度)	4年目 (平成29年度)	5年目 (平成30年度)
契約者名 (実需者、中間事業者)	1. ABCベジ加工 (DEF流通) 2.	1. ABCベジ加工 (DEF流通) 2.	1. ABCベジ加工 (DEF流通) 2.	1. ABCベジ加工 (DEF流通) 2.	1. ABCベジ加工 (DEF流通) 2.	—
契約期間	平成●●年12月 ～平成●●年5月	平成26年12月 ～平成27年5月 (平成26年12月 ～平成27年4月)	平成27年12月 ～平成28年5月 (平成27年12月 ～平成28年4月)	平成28年12月 ～平成29年5月 (平成28年12月 ～平成29年5月)	平成29年12月 ～平成30年5月 (平成29年12月 ～平成30年5月)	—
出荷数量 (t) (契約数量 (t))	1,000 t (1,000 t)	1123.6 t (1,100.0 t)	1199.7 t (1,150.0 t)	1,300.5 t (1,200.0 t)	1,330.5 t (1,300.0 t)	—
換算面積 (ha) (契約換算面積 (ha))	20.0ha (20.0ha)	22.4ha (22.0ha)	22.4ha (22.0ha)	22.4ha (22.0ha)	26.6ha (26.0ha)	—
出荷面積 (ha) (契約面積 (ha))	—	—	—	—	—	—

●契約数量/面積
下段にカッコ書きで記載
(事業実施計画の6から転記)

●換算面積 (契約換算面積)
出荷数量(契約数量)から、単収で除して記載する。
(例の場合、1330.5t/5,000kg)
※小数点第2位を切り捨て、ha単位で記載。

●出荷実績 . . . 根拠資料から転記 (契約履行の根拠として出荷データの集計表 (整理表)、出荷伝票等を添付)

※事業計画書「6対象契約の計画」に記載の契約数量または面積を下回る (契約未達) の場合は、実施状況報告書提出前に至急都道府県協会および機構担当者へご連絡ください。

7. 単収は、事業実施計画の6から転記する。

〈添付資料〉

- ・契約書又は契約内容確認書の写し
- ・出荷実績、単収の根拠が示せる資料

- ・栽培出荷実績 (生育ステージ及び出荷期間の実績が分かるもの)
ただし、既に提出している場合にあつては、省略することができるものとする。

7 補助金額

平成28年度加工・業務用野菜生産基盤強化推進事業実施状況報告書に記載済みのため省略

8 事業内容 取組期間（平成26年度～平成28年度）

平成28年度加工・業務用野菜生産基盤強化推進事業実施状況報告書に記載済みのため省略

（別添）

ほ場内容（個人ごと）

平成28年度加工・業務用野菜生産基盤強化推進事業実施状況報告書に記載済みのため省略

7、8、別添については、過去の提出資料と重複しているため、該当する既提出資料を明示し、記載を省略してください。

【参考】

Q100-2 実施状況報告書の記載内容が、事業実施計画書や実績報告書等、過去の提出資料と重複している事項が多いが、その都度、全て同じ内容を記載しなくてはならないのか。

A 過去の提出資料で既に報告している事項については、該当する既提出資料（実績報告書等確認できる報告書等）を実施状況報告書に明示することで、記載を省略できるものとします。

チェックシートを機構HPよりダウンロードして、品目ごとに記載のうえ添付してください。

(チェックシート：各採択年度共通)

<http://www.alic.go.jp/content/000136426.xls>

【加工・業務用野菜生産基盤強化推進事業】事業実施状況報告等チェックリスト					
事業実施主体名： エーリック出荷組合			採択年度： 〇〇	品目名： 〇〇〇	
	No.	チェック項目	チェック欄		
			事業実施主体	都道府県法人 ・都道府県	農畜産業振興機構
【基本】	1	事業実施状況報告の場合、提出期限（7月末日）以前の発信日となっているか。 （成果報告書の場合、目標年度の翌年度の10月末日以前の発信日となっているか。）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	2	事業実施状況報告又は成果報告書が定められた様式（局長通知別紙様式第4号）に基づいているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	3	「3産地の現状等」 当該年度の状況について、具体的に記述しているか。（計画書の転記不可）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	4	「4達成状況」 事業の成果目標に対して【添付資料】の1の根拠資料に基づき、適切に達成状況が記述しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	5	「5取組の効果及び改善方策」 取組の効果、課題、改善方策等が適切に記述しているか。 （なお、課題がある場合は、改善方策の記述が必要。）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	6	「6契約に基づく出荷実績」 最新の事業実施計画や過去に提出した実施状況報告書および実績報告書の内容に即して記述しているか。 （なお、変更がある場合は、別紙に内容と理由を整理の上、提出すること。）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	7	「7補助金額」 各年度の実績報告にある事業対象面積及び補助金額と当該年度の補助金額が同額となっているか。 （また、事業実施計画の補助金所要額と補助金額が違う場合、備考欄が適切に補記されているか。）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	8	「8事業内容」 最新の事業実施計画や過去に提出した実施状況報告書および実績報告書の内容に即して記述しているか。 （なお、変更がある場合は、別紙に内容と理由を整理の上、提出すること。）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
【添付資料】	1	指標項目に対する取組状況等の根拠資料が添付されているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	2	出荷実績の根拠資料が添付されているか。 （注）既に提出している場合、省略することが可能。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
【チェック欄の記入方法等について】					
1 要件等が満たされている、あるいは必要な書類が添付されている場合には、チェックを行った者の欄に「〇」印を記入する。					
2 該当しない項目には、「-」印を記入する。					
3 斜線部分の記入は不要です。					